

当社が取り組む気候変動リスク

リスクの分類		事業インパクト		取り組み
大分類	小分類	指標	考察	
移行リスク 脱炭素社会に向けて社会体制が変化する際に発生するリスク	炭素価格	支出 ^{※1}	<ul style="list-style-type: none"> 炭素税の導入により調達資材およびその輸送燃料に課税され、輸送コストが増加する。 炭素価格の高い国における製造コストが増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> カーボン価格政策動向のモニタリング
	エネルギーミックスの変化	支出	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーミックスによる排出係数の変化が温室効果ガス排出目標に影響を及ぼすため、電力の需給契約の見直しとそれに伴う電力コストが増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネの推進 ※CO₂排出量削減中期目標 低排出係数の電力会社への切り替え
物理的リスク 気候変動に関連して発生する、熱波や干ばつ、洪水、暴風雨、海面上昇などのリスク	平均気温の上昇	支出	<ul style="list-style-type: none"> 工場での熱中症など室温管理に関する対策コストが増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場内空調設備の拡充 工場建屋の断熱対策
	干ばつなど水ストレス	収益 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> 異常乾燥による道路の砂塵抑制および植樹の保守のための散水車需要が増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> タンクローリ製造ラインの拡充
	異常気象の激甚化	支出 収益	<ul style="list-style-type: none"> ゲリラ豪雨や台風などが多発することで在庫への被害や生産設備のトラブルが発生した場合、修正ならびに復旧コストが増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自社およびサプライチェーンにおけるリスクアセスメント 工場内への水の侵入対策

			<ul style="list-style-type: none"> ・委託先や供給網が被害をうけることでの資材等の供給に異常があった場合、工場の稼働が停止または停滞する。 ・河川の氾濫や洪水被害などを受けた被災地向けの救援用給水車や災害ゴミの回収のための車両の需要が増える。 ・都市の防災に関するインフラ整備の拡充に伴い土木系特装車の需要が増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タンクローリ製造ラインの拡充 ・中小型ダンプ製造ラインのリニューアル ・脱着式コンテナの製造ラインの拡充
	生物多様性の変化	支出	<ul style="list-style-type: none"> ・未知の病原菌によるパンデミックなどにより事業活動が停止または停滞することで、売上高およびステークホルダーへの信用が低下する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間接部門を中心としたテレワークの導入

※1 支出…収益にマイナスの影響が出る

※2 収益…収益にプラスの影響が出る